

ホセア書 ホセア

1 ベエリの子ホセアに臨んだ主*の言葉。これは、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、またイスラエルの王ヨアシュの子ヤロブアムの時代のことであった。

2 主が初めてホセアを通して語られた時、主はホセアに言われた。「行って、淫行の女を妻に迎え、不貞の子らをもうけよ。この地は主を捨て、激しく姦淫を行っている。」

3 そこで彼は行って、ディブライムの娘ゴメルを妻に迎えた。彼女は身ごもり、彼に男の子を産んだ。

4 主は彼に言われた。「その子をイズレエルと名づけよ。もうしばらくすれば、私はイズレエルの流血の責任をエフーの家に問い、イスラエルの家の王国を終わらせる。」

5 その日、私はイズレエルの谷でイスラエルの弓を折る。」

6 彼女は再び身ごもり、女の子を産んだ。

それから主は彼に言われた。「その子をロ・ルハマと名づけよ。†私はもはやイスラエルの家をあわれみず、彼らを決して赦さない。」

* **1:11:1** すべて大文字の「主」または「神」は、神の固有名であるヘブル語「יהוה」

† **1:6 1:6** 「ロ・ルハマ」は「愛されていない」という意味である。

⁷しかし、ユダの家をあわれみ、彼らの神[‡]である主によって救う。弓、剣、戦い、馬、騎兵によって救うのではない。」

⁸彼女はロ・ルハマを乳離れさせると、身ごもって男の子を産んだ。

⁹主は言われた。「その子をロ・アンミと名づけよ。§ あなたがたは私の民ではなく、私はあなたがたの神ではない。

¹⁰しかし、イスラエルの子らの数は海の砂のようになり、量ることも数えることもできなくなる。かつて彼らに『あなたがたは私の民ではない』と言われたその場所で、彼らは『生ける神の子ら』と呼ばれるようになる。

¹¹ユダの子らとイスラエルの子らはともに集まり、自分たちの上に一人のかしらを立て、その地から上って行く。イズレエルの日は、まことに大いなる。

2

¹あなたがたの兄弟たちに、『私の民よ！』*
と言い、

姉妹たちに、『愛される者よ！』† と言え。

²あなたがたの母を責めよ！

責めよ。彼女は私の妻ではなく、

私も彼女の夫ではない。

彼女の顔から淫行を、

乳房の間から姦淫を取り除かせよ。

³そうでなければ、私は彼女の衣をはぎ、

生まれた日のように裸にする。

彼女を荒野のようにし、

‡ 1:7 1:7 「神」と訳されたヘブル語は「אלהים」（エロヒム）である。

§ 1:9 1:9 「ロ・アンミ」は「私の民ではない」という意味である。

* 2:1 2:1 ヘブル語では「アンミ」 † 2:1 2:1

ヘブル語では「ルハマ」

- 乾いた地のようにして、
渇きによって死なせる。
- 4 私はその子どもたちをあわれまない。
彼らは不貞の子どもたちだからだ。
- 5 彼らの母は淫行を行い、
彼らを宿した女は恥をさらした。
彼女は言った。『私は愛人たちの後を追おう。
彼らは私にパンと水、
羊毛と亜麻、
油と飲み物を与えてくれる。』
- 6 それゆえ見よ、[‡]私は茨で彼女の道をふさぎ、
その前に壁を築く。
彼女は自分の道を見つけられなくなる。
- 7 彼女は愛人たちの後を追うが、
追いつくことはできない。
彼らを捜し求めるが、
見つけることはできない。
その時、彼女は言う。『最初の夫のもとへ帰ろう。
あのころは今より幸せだった。』
- 8 穀物と新しいぶどう酒と油を彼女に与え、
銀と金を豊かにしたのが私であることを、彼女
は知らなかった。
その銀と金は、バアルのために用いられた。
- 9 それゆえ私は、その時が来れば穀物を、
その季節になれば新しいぶどう酒を取り戻す。
また、彼女の裸を覆うはずであった私の羊
毛と亜麻を取り上げる。
- 10 今、私は彼女の愛人たちの目の前で、
彼女のみだらな姿をあらわにする。
だれも彼女を私の手から救い出せない。
- 11 私は彼女の喜びをすべて絶つ。

[‡] 2:6 2:6 「見よ」はヘブル語「הִנֵּה」に由来し、「見なさい」「心に留めよ」などの意

- 祭り、新月祭、安息日、すべての例祭を。
- 12 私は彼女のぶどうの木といちじくの木を荒れ果てさせる。
彼女はそれらについて、『これは愛人たちが私にくれた報酬だ』と言った。
私はそれらを森に変え、
野の獣が食べるようにする。
- 13 私は、彼女がバアルたちに香をたいた日々の責任を問う。
彼女は耳輪と宝石で身を飾り、
愛人たちの後を追い、
私を忘れた」
と主は言われる。
- 14 「それゆえ見よ、私は彼女を誘い、
荒野へ連れて行き、
その心に優しく語りかける。
- 15 私はそこから彼女にぶどう畑を与え、
アコルの谷を希望の扉として与える。
彼女はそこで応える。
若かった日のように、
エジプトの地から上って来た日のように。
- 16 その日には」と主は言われる。
「あなたは私を『私の夫』と呼び、
もはや『私の主人』とは呼ばない。
- 17 私はバアルたちの名を彼女の口から取り除く。
その名が再び口にされることはない。
- 18 その日、私は彼らのために、野の獣、
空の鳥、
地を這うものと契約を結ぶ。
私は弓と剣と戦いを地から断ち、
彼らを安らかに伏させる。
- 19 私はあなたを永遠に妻として迎える。

- 義と公正と慈しみとあわれみをもって、あなたを妻として迎える。
- 20 誠実をもって、あなたを妻として迎える。
あなたは主を知る。
- 21 その日、私は応える」と主は言われる。
「私は天に応え、
天は地に応える。
22 地は穀物と新しいぶどう酒と油に応え、
それらはイスラエルに應える。
- 23 私は彼女を自分のために地に種としてまく。
あわれみを受けなかった者をあわれむ。
私の民でなかった者たちに、『あなたがたは私の民だ』と言う。
彼らは、『あなたは私の神だ』と答える。」

3

- 1 主は私に言われた。「もう一度行って、ほかの男に愛されながら姦淫を行う女を愛せよ。ちょうど主がイスラエルの子らを愛しておられるように。彼らはほかの神々に心を向け、干しぶどうの菓子¹を愛している。」
- 2 そこで私は、銀十五枚と、大麦一ホメル半で彼女を自分のために買い取った。^{*}
- 3 私は彼女に言った。「あなたは長い間、私のもとにとどまりなさい。淫行をしてはならず、ほかの男と共にいてはならない。私もあなたに対して同じようにする。」
- 4 イスラエルの子らは長い間、王も君主もなく、いけにえも石柱もなく、エポデも偶像もなく過ごす。
- 5 その後、イスラエルの子らは立ち返り、自分たちの神、主と、自分たちの王ダビデを求める。終わ

* 3:2 3:2 一ホメルは約220リットル、または6ブッシェルである。

りの日々に、彼らはおののきながら主のもとへ、その恵みを求めて来る。

4

- 1 イスラエルの子らよ、主の言葉を聞け。
主はこの地の住民を訴える。
「まことに、この地には真実も慈しみもなく、
神を知ることもない。
- 2 呪い、偽り、殺人、盗み、姦淫。
彼らは戒めを破り、流血に流血を重ねる。
- 3 それゆえ、この地は嘆き、
そこに住む者は皆、衰え果てる。
そこにいるすべての生き物も、
野の獣も空の鳥も衰え、
海の魚さえ死に絶える。
- 4 しかし、だれも訴えてはならない。
だれも人を責めてはならない。
あなたの民は、祭司と言い争う者のようだ。
- 5 あなたは昼につまずき、
預言者も夜、あなたとともにつまずく。
私はあなたの母を滅ぼす。
- 6 私の民は知識を欠いたために滅ぼされる。
あなたが知識を退けたので、私もあなた
を退け、
もはや私の祭司とはしない。
あなたが自分の神の律法を忘れたので、
私もあなたの子どもたちを忘れる。
- 7 彼らは増えれば増えるほど、
私に対して罪を犯した。
私は彼らの栄光を恥に変える。
- 8 彼らは私の民の罪を食べ、
民の不義に心を向けている。

- 9 民も祭司も同じようになる。
私は彼らの歩みを罰し、
彼らの行いに報いる。
- 10 彼らは食べても満たされない。
淫行をしても、増えることはない。
主に従うことを捨てたからだ。
- 11 淫行とぶどう酒と新しいぶどう酒は、
悟りを奪う。
12 私の民は木に伺いを立て、
杖に答えを求める。
まことに、淫行の霊が彼らを迷わせ、
彼らは自分たちの神に不実を働いている。
- 13 彼らは山々の頂でいけにえをささげ、
丘の上で、樅、ポプラ、テレビン
の木の下で香をたく。
その木陰が心地よい。
それゆえ、あなたがたの娘たちは淫行を行い、
あなたがたの嫁たちは姦淫を犯す。
- 14 あなたがたの娘たちが淫行をしても、私は罰しない。
あなたがたの嫁たちが姦淫を犯しても、罰しない。
男たち自身が娼婦たちと連れ立ち、
神殿娼婦たちとともにいけにえをささげている
からだ。
悟りのない民は滅びに陥る。
- 15 イスラエルよ、あなたが淫行を行っても、
ユダに罪を犯させてはならない。
ギルガルに来てはならず、
ベテ・アベンに上ってはならない。
『主は生きておられる』と誓ってはならない。
- 16 イスラエルは強情な雌牛のように、
ひどく頑なに振る舞った。

- 今、主が彼らを、広い牧場の小羊のように養えるだろうか。
- 17 エフライムは偶像と結びついている。
そのままにしておけ。
- 18 彼らの酒は酸っぱくなり、
それでも彼らは淫行をやめない。
その支配者たちは恥をこよなく愛している。
- 19 風がその翼で彼女を包んだ。
彼らは自分たちのいけにえのゆえに恥を受ける。

5

- 1 祭司たちよ、これを聞け。
イスラエルの家よ、耳を傾けよ。
王の家よ、よく聞け。
裁きがあなたがたに臨む。
あなたがたはミツパでわなとなり、
タボルの上に張られた網となったからだ。
- 2 反逆者たちは人殺しに深く染まっている。
しかし、私は彼らを皆懲らしめる。
- 3 私はエフライムを知っている。
イスラエルは私から隠されていない。
エフライムよ、今あなたは淫行を行った。
イスラエルは汚れている。
- 4 彼らの行いは、
彼らが自分たちの神に立ち返ることを許さない。
淫行の霊が彼らの内にあり、
彼らは主を知らない。
- 5 イスラエルの高慢が、
イスラエル自身を告発する。
それゆえ、イスラエルとエフライムは自分たちの不義につまずき、

- ユダも彼らとともにつまずく。
6 彼らは羊の群れと牛の群れを連れて、
主を求めに行くが、主を見つけることはできない。
主が彼らから身を引かれたからだ。
7 彼らは主に不実を働いた。
不貞の子どもたちを産んだからだ。
今や新月祭が、彼らとその畑を食い尽くす。
- 8 ギブアで角笛を吹き、
ラマでラッパを鳴らせ。
ベテ・アベンでときの声を上げよ。
ベニヤミンよ、敵は背後にいる！
9 エフライムは懲らしめの日に荒れ果てる。
私はイスラエルの部族の間に、
確実に起こることを知らせた。
- 10 ユダの君主たちは、
境界石を移す者のようだ。
私は水のように彼らの上に憤りを注ぐ。
- 11 エフライムは虐げられ、
裁きによって打ち砕かれている。
彼が偶像を追うことに心を定めたからだ。
- 12 それゆえ、私はエフライムにとって蛾のようになり、
ユダの家にとって腐れのようになる。
- 13 エフライムは自分の病を見、
ユダは自分の傷を見た。
そこでエフライムはアッシリアへ行き、
ヤレブ王に使いを送った。
しかし彼はあなたがたを癒すことができず、
あなたがたの傷を治すこともできない。
- 14 私はエフライムに対して獅子のようになり、
ユダの家に対して若い獅子のようになる。

この私が引き裂いて立ち去る。
私が連れ去れば、救い出す者はいない。
15 私は自分の場所へ帰って行く。
彼らが自分たちの罪を認め、
私の顔を求めるまで。
彼らは苦しみの中で、切に私を求める。」

6

- 1 「さあ、主のもとに帰ろう。
主は私たちを引き裂かれたが、
癒してくださる。
主は私たちを傷つけられたが、
傷を包んでくださる。
- 2 二日の後、主は私たちを生き返らせ、
三日目に私たちを立ち上がらせてくださる。
私たちは主の前で生きる。
- 3 主を知ろう。
主を知ることを熱心に追い求めよう。
日の出が確かなように、
主は必ず現れる。
主は雨のように私たちのもとに来られる。
地を潤す春の雨のように。」
- 4 「エフライムよ、私はあなたに何をしようか。
ユダよ、私はあなたに何をしようか。
あなたがたの慈しみは朝の雲、
たちまち消える露。
- 5 それゆえ、私は預言者たちによって彼ら
を切り刻み、
私の口の言葉によって彼らを殺した。
あなたがたへの裁きは、稲妻のようにひらめく。
- 6 私が望むのは、いけにえではなく慈しみ、

- 全焼のささげ物よりも、神を知ること。
7 しかし彼らはアダムのように契約を破り、
そこで私に不実を働いた。
8 ギルアデは不義を行う者たちの町であり、
血の跡で汚れている。
9 盗賊の群れが人を待ち伏せるように、
祭司の一団はシェケムへ向かう道で人を殺す。
まことに、彼らは恥ずべきことを行う。
10 イスラエルの家で、私は恐ろしいことを見た。
エフライムには淫行があり、
イスラエルは汚れている。
11 私が自分の民の繁栄を回復する時、
ユダよ、あなたにも収穫の時が定められている。

7

- 1 私がイスラエルを癒そうとする時、
エフライムの不義と、
サマリアの悪があらわになる。
彼らは偽りを行い、
盗人は中に入り、
盗賊の群れは外で略奪する。
2 彼らは、私がそのすべての悪を覚えていること
を、
心に留めない。
今や彼らの悪行が彼らを取り囲み、
私の目の前にある。
3 彼らは悪によって王を喜ばせ、
偽りによって君主たちを喜ばせる。
4 彼らは皆、姦淫を行う者だ。
パン職人が生地をこねてから発酵するまで、
火をかき立てなくても燃え続ける炉のようだ。
5 われわれの王の祝いの日に、

- 君主たちはぶどう酒の熱で身を病ませた。
王はあざける者たちと手を組んだ。
- 6 彼らは待ち伏せする間、
心を炉のように熱くする。
彼らの怒りは一晩中くすぶり、
朝には燃え盛る火となる。
- 7 彼らは皆、炉のように熱くなり、
自分たちの裁き人を食い尽くす。
彼らの王は皆、倒れた。
彼らの中には、私を呼び求める者が一人もいない。
- 8 エフライムは諸国民の中に混じっている。
エフライムは焼き返されていない平焼きパンだ。
- 9 よその者たちが彼の力を食い尽くしたが、
彼はそれに気づかない。
白髪がところどころに生えても、
彼はそれに気づかない。
- 10 イスラエルの高慢が、
イスラエル自身を告発する。
それでも彼らは、自分たちの神、主に立ち返らず、
このすべてがあっても、主を求めない。
- 11 エフライムは思慮がなく、
たやすく欺かれる鳩のようだ。
彼らはエジプトに呼びかけ、
アッシリアへ行く。
- 12 彼らが行く時、私はその上に網を広げ、
空の鳥のように彼らを引き下ろす。
彼らの集会に告げたとおり、彼らを懲らしめる。
- 13 彼らには災いがある。
彼らは私から離れ去ったからだ。
彼らには滅びがある。

私に背いたからだ。
私は彼らを贖おうとするのに、
彼らは私に逆らって偽りを語る。
14 彼らは心から私に叫ばず、
寝床の上で泣きわめく。
穀物と新しいぶどう酒を求めて集まり、
私から離れて行く。
15 私が彼らの腕を鍛え、強くしたのに、
彼らは私に対して悪を企てる。
16 彼らは立ち返るが、いと高き方には立ち返らない。
彼らは狙いの定まらない弓のようだ。
彼らの君主たちは、
舌の激しさのゆえに剣に倒れる。
彼らはエジプトの地で、あざけりの的となる。」

8

1 「角笛を唇に当てよ。
驚のようなものが主の家に迫る。
彼らが私の契約を破り、
私の律法に背いたからだ。
2 彼らは私に叫ぶ。
『私の神よ、私たちイスラエルはあなたを知っています。』
3 イスラエルは良いものを退けた。
敵が彼を追う。
4 彼らは王を立てたが、私によるのではない。
君主を立てたが、私は認めなかった。
彼らは自分たちの銀と金で偶像を造った。
そのため彼らは滅びに至る。
5 サマリアよ、あなたの子牛の偶像を投げ捨てよ。
私の怒りは彼らに向かって燃えている。」

- 彼らはいつになれば清くなれるのか。
6 この子牛もイスラエルから出たものだ。
職人が造ったもので、神ではない。
サマリアの子牛は粉々に碎かれる。
- 7 彼らは風をまき、
つむじ風を刈り取る。
立っている穀物はなく、
茎には穂が出ない。
たとえ実っても、よその者たちがそれをの
み込む。
- 8 イスラエルはのみ込まれた。
今や彼らは諸国民の中で、
役に立たない器のようになっている。
- 9 彼らはアッシリアへ上って行った。
独りさまよう野ろばのように。
エフライムは金を払って愛人たちを雇った。
- 10 彼らが諸国民の中で自分を売ったとしても、
今、私は彼らを集める。
彼らは強大な王の圧迫のために、
衰え始める。
- 11 エフライムは罪のために祭壇を増やした。
その祭壇が、かえって罪を増すものとなった。
- 12 私は彼のために律法の多くのことを書き記した
が、
それらは、よそ事とみなされた。
- 13 彼らは私へのささげ物として肉をささげ、
それを食べる。
しかし主は彼らを受け入れない。
今、主は彼らの不義を覚え、
彼らの罪を罰する。
彼らはエジプトへ帰る。
- 14 イスラエルは自分の造り主を忘れて宮殿を建て、
ユダは要塞の町々を増やした。

しかし私は彼らの町々に火を送り、
その要塞を焼き尽くす。」

9

- ¹ イスラエルよ、諸国民のように、
歓喜してはならない。
あなたは自分の神に不実を働き、
どの脱穀場でも、娼婦の報酬を愛した。
- ² 脱穀場もぶどう搾り場も彼らを養わず、
新しいぶどう酒も彼女を裏切る。
- ³ 彼らは主の地に住み続けることができない。
エフライムはエジプトへ帰り、
アッシリアで汚れた食物を食べる。
- ⁴ 彼らは主にぶどう酒を注ぎのささげ物としてささげず、
そのいけにえも主に喜ばれない。
彼らのいけにえは喪に服す者のパンのようになり、
それを食べる者は皆、汚れる。
彼らのパンは自分の空腹を満たすだけで、
主の家に入ることはない。
- ⁵ 例祭の日、
主の祭りの日に、
あなたがたは何をするのか。
- ⁶ 見よ、彼らが滅びから逃れても、
エジプトが彼らを集め、
メンフィスが彼らを葬る。
彼らの銀の宝物はいらくさのものとなり、
天幕にはいばらが生える。
- ⁷ 処罰の日が来た。
報いの日が来た。
イスラエルは預言者を愚か者とみなし、
霊を受けた者を狂人とみなす。

あなたの罪が多く、

敵意が激しいからだ。

8 預言者は私の神とともに、

エフライムを見張る。

しかし、そのすべての道には鳥を捕らえるわながあり、

神の家には敵意が満ちる。

9 彼らはギブアの日々のように、

深く墮落した。

主は彼らの不義を覚え、

その罪を罰される。

10 私は荒野のぶどうのようにイスラエルを見つけた。

初なりのいちじくを見るように、

あなたがたの父祖たちを見た。

しかし彼らはバアル・ペオルへ行き、

恥ずべきものに自分を献げ、

自分たちが愛したもののように忌まわしい者となった。

11 エフライムの栄光は鳥のように飛び去る。

出産も、妊娠も、受胎もなくなる。

12 たとえ彼らが子どもを育てても、

私は一人も残らぬまで、彼らから子を奪う。

私が彼らから離れる時、まことに彼らには災いがある。

13 私はエフライムを、

美しい地に植えられたツロのように見た。

しかしエフライムは、自分の子どもたち

を殺す者のもとへ連れ出す。

14 主よ、彼らに与えてください。

何をお与えになるのですか。

流産する胎と、乳の枯れた乳房を。

15 「彼らの悪はすべてギルガルにある。

- 私はそこで彼らを憎んだ。
彼らの悪い行いのために、
私は彼らを私の家から追い出す。
私はもはや彼らを愛さない。
彼らの君主は皆、反逆者だ。
- 16 エフライムは打たれた。
その根は枯れ、
実を結ぶことはない。
たとえ彼らが子を産んでも、
私はその胎の愛しい子どもたちを殺す。」
- 17 私の神は彼らを退けられる。
彼らが神に聞き従わなかったからだ。
彼らは諸国民の間をさすらう者となる。

10

- 1 イスラエルは繁茂したぶどうの木で、
豊かに実を結ぶ。
実が増えるにつれて祭壇を増やし、
地が栄えるにつれて聖なる石柱を飾った。
- 2 彼らの心は分かれている。
今、彼らは罪に定められる。
主は彼らの祭壇を打ち壊し、
聖なる石柱を破壊する。
- 3 今、彼らは言う。
「われわれには王がいない。
われわれは主を恐れていないのだから、
王に何ができるだろう。」
- 4 彼らは空しい約束をし、
契約を結ぶ時に偽って誓う。
それゆえ、裁きは畑の畝に生える
毒草のように芽を出す。
- 5 サマリヤの住民は、

- ベテ・アベンの子牛像のためにおびえる。
その民は子牛像のために嘆き、
それを喜んでいた祭司たちも、
その栄光が去ったために嘆く。
- 6 それもアッシリアへ運ばれ、
大王への贈り物となる。
エフライムは恥を受け、
イスラエルは自分の計画を恥じる。
- 7 サマリヤとその王は、
水の上に浮かぶ小枝のように流れ去る。
- 8 イスラエルの罪である、
アベンの高き所も滅ぼされる。
いばらとあざみがその祭壇の上に生える。
彼らは山々に、『私たちを覆え』と言い、
丘々に、『私たちの上に倒れかかれ』と言う。
- 9 「イスラエルよ、あなたはギブアの日々か
ら罪を犯してきた。
彼らはそこでとどまった。
ギブアで不義の者たちに臨んだ戦いも、
彼らには追いつかなかった。
- 10 私が望む時、彼らを懲らしめる。
彼らが二つの背きに縛られる時、
諸国民が彼らに敵対して集められる。
- 11 エフライムは脱穀を好む、
よく慣らされた雌牛だ。
私はその美しい首にくびきを掛け、
エフライムに乗って、働かせる。
ユダには耕させ、
ヤコブには土の塊を碎かせる。
- 12 あなたがた自身のために義をまき、
慈しみに応じて刈り取れ。
未開墾の地を耕せ。

- 今こそ主を求める時。
主が来て、
あなたがたの上に義を雨のように降らせるまで。
- 13 あなたがたは悪を耕し、
不義を刈り取った。
偽りの実を食べた。
あなたが自分の道と、
多くの勇士たちを頼ったためだ。
- 14 それゆえ、あなたの民の間に戦いの叫びが起こり、
あなたのすべての要塞は滅ぼされる。
シャルマンが戦いの日にベテ・アルベルを滅ぼし、
母も子も、ともに打ち碎かれた時のように。
- 15 あなたがたの大きな悪のために、
ベテルもあなたがたに同じことをする。
夜明けとともに、イスラエルの王は絶え果てる。」

11

- 1 「イスラエルが幼いころ、私は彼を愛し、
エジプトから私の子を呼び出した。
- 2 彼らが呼びかければ呼びかけるほど、
イスラエルは彼らから遠ざかった。
バアルたちにいけにえをささげ、
刻んだ像に香をたいた。
- 3 それでも、エフライムに歩くことを教え、
その腕を取ったのは私であった。
しかし彼らは、私が癒したことを知らなかった。
- 4 私は人の綱、愛の絆で彼らを引いた。
私は彼らにとって、彼らの首からくびき
を持ち上げる者のようであった。

私は身をかがめて、彼らに食物を与えた。

- 5 彼らはエジプトの地には帰らない。
アッシリア人が彼らの王となる。
彼らは立ち返ることを拒んだ。
- 6 剣は彼らの町々に襲いかかり、
その門のかんぬきを打ち砕き、
彼らの計画を終わらせる。
- 7 私の民は、私から離れ去ろうと心を定めている。
彼らがいと高き方に呼びかけても、
主は彼らを決して引き上げない。
- 8 エフライムよ、どうしてあなたを見捨てられるだろうか。
イスラエルよ、どうしてあなたを引き渡せるだろうか。
どうしてあなたをアデマのようにできるだろうか。
どうしてあなたをツェボイムのようにできるだろうか。
- 私の心は内で翻り、
あわれみが激しく燃え上がる。
- 9 私は激しい怒りを下すことはしない。
再びエフライムを滅ぼすことはしない。
私は神であって、人ではない。
あなたがたのただ中にいる聖なる者。
私は怒りをもって来ない。
- 10 彼らは主の後に従って歩む。
主は獅子のようにほえる。
主がほえると、子らは西から震えながらやって来る。
- 11 彼らはエジプトから鳥のように震えながら来る。
アッシリアの地から鳩のように来る。
私は彼らを、その家々に住まわせる」

と主は言われる。

- 12 エフライムは偽りで私を取り囲み、
イスラエルの家は欺きで私を囲んでいる。
ユダはなお神から離れてさまよい、
聖なる方に不忠実である。

12

- 1 エフライムは風を食べ、
一日中、東風を追う。
偽りと破壊を増し加え、
アッシリアと契約を結び、
油をエジプトへ運ぶ。
- 2 主はユダをも訴える。
ヤコブをその歩みに従って罰し、
その行いに応じて報いられる。
- 3 彼は母の胎内で兄のかかとをつかみ、
成人すると神と争った。
- 4 まことに、御使いと格闘して勝った。
彼は泣いて、御使いに願い求めた。
彼はベテルで神に出会い、
そこで神は私たちに語られた――
- 5 その方は万軍の主。
その御名は主。
- 6 それゆえ、あなたの神に立ち返れ。
慈しみと公正を守り、
絶えずあなたの神を待ち望め。
- 7 商人の手には偽りの秤があり、
彼はだまし取ることを好んでいる。
- 8 エフライムは言った。
「確かに私は富んだ。
私は自分のために富を得た。」

この富のどこを探しても、
罪に問われる不義など、だれにも見つけられない。」

- 9 「しかし私は、あなたがエジプトの地にいた時から、
あなたの神、主である。
私は再びあなたを天幕に住まわせる。
例祭の日々のように。
- 10 私は預言者たちに語り、
幻を多く与えた。
預言者たちを通して、
たとえを語った。
- 11 ギルアデに不義があるなら、
彼らはまことにむなしい。
ギルガルで彼らは雄牛をいけにえにする。
その祭壇は、畑の畝にある石の山のようになる。
- 12 ヤコブはアラムの地へ逃げた。
イスラエルは妻を得るために仕え、
妻を得るために羊と牛の群れを守った。
- 13 主は一人の預言者によって、
イスラエルをエジプトから導き上げ、
一人の預言者によってイスラエルを守られた。
- 14 エフライムは主を激しく怒らせた。
それゆえ、その流血の罪は彼の上に残され、
彼の主*は、その侮辱を彼に返される。

13

- 1 エフライムが語ると、人々は震えた。
彼はイスラエルの中で自らを高くした。
しかしバアルによって罪を負うと、死んだ。

* 12:14 12:14 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。

- 2 今、彼らはますます罪を犯し、
自分たちの銀で鑄造された像を造る。
自分たちの考えに従って造った偶像であり、
すべて職人の手のわざである。
人々は彼らについて、
『人をいけにえにささげ、子牛の像に口づけし
ている』と言う。
- 3 それゆえ彼らは朝もやのように、
早く消える露のようになる。
脱穀場からつむじ風に吹き飛ばされるもみ殻の
ように、
煙突から出る煙のようになる。
- 4 しかし私は、あなたがエジプトの地にいた時か
ら、
あなたの神、主である。
あなたは私のほかに神を認めてはならない。
私のほかに救い主はいない。
- 5 私は荒野で、
ひどく乾いた地で、あなたを知った。
- 6 彼らは牧草を得ると、満ち足りた。
満ち足りると、その心は高ぶった。
それで彼らは私を忘れた。
- 7 それゆえ私は彼らに対して獅子のようになり、
豹のように道のそばで待ち伏せする。
- 8 子を奪われた雌熊のように彼らに襲いかかり、
その胸を引き裂く。
そこで雌獅子のように彼らを食い尽くし、
野の獣が彼らを引き裂く。
- 9 イスラエルよ、あなたは滅びに陥った。
あなたの助け主である私に逆らった。
- 10 あなたのすべての町で、あなたを救う王は今どこ
にいるのか。
『私に王と君主たちを与えてください』と、

- あなたが求めた裁き人たちはどこにいるのか。
 11 私^は怒りのうちに王^をあなたに与え、
 憤りのうちに彼^を取り去った。
 12 エフライムの罪責^は蓄えられ、
 その罪^はしまい込まれている。
 13 産婦の苦^{しみ}が彼^に臨む。
 彼は知恵のない子だ。
 時が来ても、
 産道に出て来ない。
 14 私^は彼らをよみ^{*}の力から贖い出す。
 死から彼^らを買い戻す。
 死よ、あなたの疫病^はどこにあるのか。
 よみよ、あなたの滅び^はどこにあるのか。

あわれみは私の目から隠される。

- 15 エフライムが兄弟たちの間で実^を結んでも、
 東風^が来る。
 荒野から、主の風^が吹き上がる。
 その泉^は干上がり、
 その水源^は枯れる。
 その風^は、あらゆる貴重な宝の倉^を略奪する。
 16 サマリアは罪責^を負う。
 自分の神^に反逆した。
 彼^らは剣^に倒れる。
 幼子^{たち}は打ち砕かれ、
 身ごもった女^{たち}は腹^を裂かれる。」

14

- 1 イスラエルよ、あなたの神、主^に立ち返れ。
 あなたは自分の罪^ににつまずいた。
 2 言葉^を携えて、主^に立ち返れ。

* 13:14 13:14 よみ（シェオル）は死者の場所である。

主に言え。
「すべての罪を赦し、
良いものを受け入れてください。
そうすれば私たちは、唇で誓ったとおり雄牛を
ささげます。

- 3 アッシリアは私たちを救わない。
私たちはもう馬に乗らない。
私たちの手で造ったものに、
『私たちの神々』とは言わない。
みなしごは、あなたのもとであわれみ
を得る。」

- 4 「私は彼らの背信を癒す。
喜んで彼らを愛する。
私の怒りは彼らから離れた。
5 私はイスラエルにとって露のようになる。
彼は百合のように花を咲かせ、
レバノンの木々のように根を下ろす。

- 6 その枝は広がり、
その美しさはオリーブの木のように、
その香りはレバノンのようになる。

- 7 人々は彼の陰に住み、
穀物のように芽吹き、
ぶどうの木のように花を咲かせる。
その香りはレバノンのぶどう酒のようになる。

- 8 エフライムよ、私に偶像と何のかかわりがあるの
か。
私が彼に答え、彼を顧みる。
私は青々と茂る糸杉。
あなたの実は私から生まれる。」

- 9 だれが知恵ある者で、これらのことを悟るだろう
か。
だれが賢明な者で、これらを知るだろうか。

主の道は正しく、
義人はその道を歩む。
しかし、反逆する者はその道でつまずく。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424